

令和5年9月2日（土）に町内会役員を対象とした「令和の町内会講座」を開催しました。講座には37名の方にご参加いただき、町内会の現状と課題や令和の町内会運営のヒントについて講義を聴いたのち、グループに分かれて「令和の町内会運営に向けて今できること」をテーマとしたワークショップを行いました。

《開催概要》

日時：令和5年9月2日（土）17:00～19:00

場所：オンワード樫山仙台ビル10階ホール

参加者：37名

内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ

■ 講義

講師の(株)Glocal Design 酒本宏氏から、町内会の現状と課題から、令和の町内会運のヒントとなる3つのアクション「必要性を実感してもらう活動」「参加しやすい組織体制」「デジタル化による効率化と情報発信」について、効果的な手法や他町内会の事例等を交えた話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、8グループに分かれ、「各世代のコミュニティのニーズ」を考えました。その後、「令和の町内会運営に向けて求められる町内会の活動や取り組み」についてアイデアを出し合いました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。



ワークショップ全体のまとめ

若い世代のニーズを把握する

- ・ アンケート調査を行い、サポーターを募集する
- ・ 若い世代と子ども会の話聞く
- ・ 子ども会に自由に企画してもらう・連携（お金は出すけど口は出さない）
- ・ 若い世代向け役職をつくる
- ・ 若い世代と一緒にイベントを企画する

高齢化への対応

- ・ 高齢化が進んでいる、若い世代がいない
- ・ 子どもが参加するイベントを開催する

多世代が集まるイベントを開催

- ・ ラジオ体操、お祭りなど
- ・ 多世代が参加できる町内会活動を考える（乳幼児から高齢まで・・・芋煮会）

顔の見える関係づくり

- ・ コミュニティの場づくり（共用スペースを活用・カフェ・図書）
- ・ 班ごとで防災訓練を行う

デジタル化

- ・ デジタル化で若い世代とつながろう
- ・ SNSで若い世代に情報を伝える

グループごとの意見・アイデア

「令和の町内会運営に向けて求められる町内会の活動や取り組み」については、若い世代を取り込むために、SNSを活用した情報発信する、子育て世代が参加するイベントを開催する、若い人たちにイベントの企画運営をお任せする、などの意見があげられました。また、若い世代のニーズを把握するために、アンケート調査や座談会などの機会を設けることやコミュニケーションをとる必要性があげられました。

グループ1

- 若い人のニーズを集めるために、子ども会に意見を求める
- 若い世代に新しいイベントを企画・運営してもらおう
- 回覧板でアンケートをとる
- 現役世代の集まりを活用する

グループ2

- アンケートをとってみる
- デジタル（SNS）を利用する
- 夏祭りに孫を連れてくるようにし、子どもの頃から町内会に親しんでもらうようにする

グループ3

- 若い世代に防災のメンバーに入ってもらい、町内会に関わってもらおう
- 若い世代に自由に企画してもらおう（お金は出すが口は出さないようにする）

グループ4

- 各世代の顔が見える機会を作り、ニーズを把握する
- 共用スペースを活用してイベントなどを実施する

グループ5

- アンケート調査を実施してサポーターを募集する
- サポーターを中心としたイベントの実施
- 子育て世代を取り入れるプログラムに転換する

グループ6

- デジタル化で若い人と結びつく（SNS等で情報発信をし、関心を持ってもらう）
- コミュニケーションのきっかけをつくる
- 子ども会活動への支援を行う

グループ7

- 10年以上役員を担っていると、新しい取り組みをしづらくなる
- 子どもや若い世代がいない

グループ8

- 乳幼児から大人まで参加できるイベントを行う
- 子どもの参加するイベントを開催する
- 子育て世代に集まってもらいニーズを聞く

